

那須塩原駅周辺まちづくり特別委員会

令和7年11月28日（金曜日）午前11時47分開会

出席委員（6名）

委員長 中村芳隆
委員 小島耕一
委員 齊藤誠之

副委員長 松田寛人
委員 田村正宏
委員 齋藤寿一

欠席委員（なし）

出席議会事務局職員

議事課長 岩波ひろみ
書記 石田篤志

議事調査係長 長岡栄治

議事日程

1. 開会
2. 協議事項
 - (1) 12月定例会議における委員会の運営（付託予定議案、日程等）について
 - (2) その他
3. その他
4. 閉会

開会 午前11時47分

◎開会及び開議の宣告

○中村委員長 皆さん、こんにちは。

今回、各常任委員会で本当にお疲れの中、ただいまより那須塩原駅周辺まちづくり特別委員会を開会させていただきます。

協議事項は、次第のとおりでございまして、委員各位におかれましては、円滑な進行に御協力をお願い申し上げます。

私からは以上といたします。



◎協議事項

○中村委員長 それでは、次第2、協議事項に入ります。

初めに、(1)12月定例会議における委員会の運営についてを議題といたします。

事務局から説明をお願いいたします。

事務局。

○石田書記 (12月定例会議における委員会の運営について説明。)

○中村委員長 説明が終わりました。

質問はございますか。

[発言する人なし]

○中村委員長 ございませんね。

12月定例会における委員会の付託議案審査の運営については、次第(案)のとおり審査を行うことで異議ございませんか。

[「異議なし」と言う人あり]

○中村委員長 異議がないようなので、付託議案審査日程及び審査順は、次第案のとおりといたします。

それでは、次に次第(2)のその他を議題といたし

ます。

協議事項として、皆様から何かございますか。

[発言する人なし]

○中村委員長 ございませんね。

それでは、3、その他に移ります。

委員の皆様から何かございますか。

田村委員。

○田村委員 (重点支援地方交付金への要望書について提案。)

(重点支援地方交付金への要望書について協議。)

○中村委員長 じゃ、そのような形で進めていきま

すのでよろしくお願ひしたいと思います。

それでは、ほかにございませんね。

[「はい」と言う人あり]

○中村委員長 それでは、事務局から。事務局。

○石田書記 (事務連絡。)

○中村委員長 それでは、1時半で午後の部の委員会を開会させていただきます。よろしくお願ひしたいと思います。

じゃ、よろしいですか。

[「はい」と言う人あり]



◎閉会の宣告

○中村委員長 以上をもちまして、本日的那須塩原駅周辺まちづくり特別委員会を開会いたします。

大変お疲れさまでございました。

閉会 午前11時58分

那須塩原駅周辺まちづくり特別委員会及び予算常任委員会（第四分科会）

令和7年12月12日（金曜日）午前10時00分開会

出席委員（6名）

委員長	中村芳隆	副委員長	松田寛人
委員	小島耕一	委員	田村正宏
委員	齊藤誠之	委員	齋藤寿一

欠席委員（なし）

説明のための出席者

企画部長	相馬智子	那須塩原駅 周辺整備室長	佐原勝美
那須塩原駅 周辺整備室長 補佐	相馬福光	那須塩原駅 周辺整備室 主幹	岩本和也
那須塩原駅 周辺整備室 副主幹	大橋喜子	那須塩原駅 周辺整備室 副主幹	遠藤幸宏
那須塩原駅 周辺整備室 主査(係長級)	小野寺尚人	財政課長	波多腰治
財政係長	三浦和哉		

出席議会事務局職員

議会事務局長	平井克巳	議事課長	岩波ひろみ
議事調査係長	長岡栄治	書記	石田篤志

議事日程

1. 開会
2. 委員長挨拶
3. 審査事項

[企画部]

- ・企画部長挨拶

[那須塩原駅周辺整備室]

予算常任委員会（第四分科会）

- ・議案第86号 令和7年度那須塩原市一般会計補正予算（第7号）

4. その他

5. 閉 会

開会 午前10時00分

◎開会及び開議の宣告

○中村委員長 改めまして、おはようございます。

ただいまから12月定例会議の那須塩原駅周辺まちづくり特別委員会及び予算常任委員会（第四分科会）を開会いたします。

ただいまの出席委員は6名でございます。委員の皆様には異議なしなどの意思表示をはっきりしていただくことと、明瞭な質疑をしていただくようお願いをいたします。

審査の日程はお手元に配付の次第のとおりいたします。

今定例会議におきまして当特別委員会に付託された案件はありません。

予算常任委員会付託案件のうち当分科会で審査すべき案件は、補正予算案件1件であります。予算に関する案件につきましては、分科会に切り替えて審査を行います。

委員各位におかれましては、慎重なる審査とともに円滑な進行に御協力をお願い申し上げます。

◎企画部の審査

○中村委員長 それでは、審査事項に入ります。

これより企画部、那須塩原駅周辺整備室の審査に入ります。

初めに、企画部長から御挨拶をお願いいたします。

企画部長。

○相馬企画部長 （挨拶。）

○中村委員長 ありがとうございます。

那須塩原駅周辺整備室については、那須塩原駅周辺まちづくり特別委員会に対する付託案件があ

りませんので、予算常任委員会（第四分科会）に切り替え、審査を行います。

◎議案第86号の説明、質疑、討論、採決

○中村委員長 それでは、議案第86号 令和7年度那須塩原市一般会計補正予算（第7号）を議題といたします。

執行部から議案の説明を簡潔をお願いいたします。

室長。

○佐原那須塩原駅周辺整備室長 （議案第86号について説明。）

○中村委員長 説明が終わりましたので、質疑を許します。

質疑はございませんか。

小島委員。

○小島委員 補正予算書の10ページの工事の管理ということで、これまで外構工事は入ってなかったんですけども、今度外構工事を入れたというようところで、まず外構工事を市役所の職員が基本的にはできるはずだったという話で入れてなかったんですけども、まず入れた理由をもう一度確認したいと思うんですけども、答弁をお願いします。

○中村委員長 室長。

○佐原那須塩原駅周辺整備室長 外構工事というのは、もちろん工事そのものではなくて、この外構工事に関する工事管理の部分ということで、まず入れてございます。これまでの中でもちょっと繰り返しになる部分はございますが、当初なるべく金額を抑えたいというふうな趣旨ももちろんございました。そういった中で、外構を自前で工事管

理できないかというふうな想定をしていたところでございますが、やはり実際に6月の工事発注に当たりましてよく設計を組み、改めて精査しますと、なかなか職員の中では、もちろん能力というところもそうですが人の配置、数の問題とかも含めまして、職員ではなかなか難しいだろうという判断に至ったところでございますので、先ほど説明の最後に申し上げましたとおり、今後も当然予算の要求に当たっては、しっかりと説明責任を果たせるような予算要求していきたいというところでございます。

○中村委員長 小島委員。

○小島委員 具体的に市の職員はこれまでではできなかったけれども、今回の庁舎の建設では、どこが市の職員では管理監督ができないということが出てきたのか、そのあたりをお伺いしたいと思います。

○中村委員長 室長。

○佐原那須塩原駅周辺整備室長 もちろんこれまで、例えば建築工事、営繕工事といえますけれども、他の学校の校舎であるとか体育館であるとか、こういったものを職員が直営でやっているところももちろんございます。ただやはり今回この新庁舎の工事に関しましては、これまで那須塩原市の中で経験してきた工事とは、ちょっと規模感が違うと。それから特殊な免振構造であるとか、やはりこれまで経験値のないところがあるというところでございます。やはり職員だけでこれを全部回すというのは、なかなか現実的に難しいというところで、今回この業務委託を発注するということでございます。

○中村委員長 小島委員。

○小島委員 免震構造とかそういうのは、基本的に庁舎の管理ですよ。外構工事というのは外側ですけれども、今免振工事と外構工事の中に、免振まで含まれて管理監督することになっているのか、

それとも今までの道路とかそういうものと同じように、外側だけの工事という管理監督の区分になっているのか、そのあたりはどうなっているのかお伺いしたいと思います。

○中村委員長 室長。

○佐原那須塩原駅周辺整備室長 ちょっと今私の説明が御質問の趣旨を取り違えたかもしれませんが、今回加えました外構等、これにつきましてもやはり規模感と、それからそういったところで今回新たに追加させてもらったというところでございますけれども、今回これを見直したことによりまして、新庁舎建設工事にかかる全ての工事監理、意図伝達については、今回業務委託をお願いするということで見直しさせていただいたところがございます。

○中村委員長 小島委員。

○小島委員 そうすると、要は外構工事も一体的な庁舎建設の管理監督という中で、外構工事だけを市の職員が管理するのはちょっと難しいということから、これも入れたという考え方でいいのかどうか、ちょっと確認したいと思います。

○中村委員長 室長。

○佐原那須塩原駅周辺整備室長 今御指摘いただいたとおり、そのとおりでございます。

○中村委員長 よろしいですか。

ほかにございませんか。

齊藤委員。

○齊藤委員 今の小島さんのところなんですけれども、確認で言えばいいんですけれども、ざっくり1億2,000万円程度上がったということで、もし職員の方がやられていたと想定した場合の金額、かからない状態だったと思うんですけれども、そこを今回お願いするということがかかっちゃうんですが、その部分を差し引いて、本来であれば多分物価高騰だけでも予算計上ってされていた

んじゃないのかなって思っていたんですけども、この1億2,000万円ざっくりの内訳みたいなのは言えそうですか。

○中村委員長 室長。

○佐原那須塩原駅周辺整備室長 まず前提としまして、実施設計を組んでいるものではございません。当然予算の要求という形でしていただいている段階でございますので、本当に大まかな数字にはなりますけれども、まず人件費はおおよそですけれども、1,200万円程度の増額になろうというふうに考えております。それから今回追加させていただきました外構につきましては、大体ですけれども、これも5,500万円程度というふうに見込んでございます、それから特殊構造等の割増しということでお話しさせてもらった部分、これが5,500万円ということで、トータルしますと1億2,100万円程度という形に見込んでございます。

○齊藤委員 それが免震とかそういう特殊ですね。

○佐原那須塩原駅周辺整備室長 そうです。

○中村委員長 よろしいですか。

ほかにございませんか。

質疑の途中ですが、議員間討議に入ります。討議すべき点あるいは委員からの意見はございますか。

齊藤委員。

○齊藤委員 今回一旦那須塩原市の新庁舎が不調になったということで、市の執行部はもう目もくれず一生懸命ここまで整備してきたと思うんです。今回この審査を通していく中で、もし可決承認がされた場合の後、もう本当に失敗をしてほしくないと思っているので、我々議会側の意思も踏まえていただいて、新庁舎はしっかりと建設に向かっていくんだ、こういった気概を持ってやっていただきたいと思いますというのをどうしても言いたかったので、予算をしっかりとつけたのにそこに対して

やましい、言い方変ですけれどもやましい気持ちなんか持たず、企画部長が言った公正なる競争の下、結果がそういうふうになったという、金額になったという形を僕は望むので、市の執行部のほうで前も言ったけれども、全額使わずして、前回みたいな形を考えずに、まず建設が第一歩になるような、そんな話にしていただきたいと思いますという意見だけです。

○中村委員長 意見でよろしいですか。討論はしなくていい。

○齊藤委員 今は取りあえず意見だけです。

○中村委員長 じゃ、その意見だけでよろしいですね。議員間討議はしなくてもいいということですか。ほかの皆さん、どう思いますか。齊藤委員の意見について。

それでは、その件について趣旨をしっかりと申していただいて、議員間討議に入りたいと思います。よろしいですか。

じゃ、議員間討議に入りたいと思います。齊藤委員からもう一度趣旨をちょっと述べて、意見交換すべきものは言ってください。

○齊藤委員 分かりました。田村委員もいって言ってくれたんですけども、意図としては、今回10億5,000万円の追加補正予算を立ててまでして新庁舎建設に望む執行部の体制を、我々は今審査をして、本議会で、結果はまだ分かりませんが、もしそれが通った暁にはその思いをしっかりと受け継いで、とにかく庁舎建設にこぎ着けてくださいという話なんです。

理由は委員長も分かると思うんですけども、前回の137億円のと時の入札の方式が総合評価落札方式ということで、価格展開をしたときに、我々議会も含めて一般の市民の方というのは、もうそもそも新聞等々に書かれた金額で入札が行われていたと思っていた事実を、市の執行部が努力を

したおかげで、その評価額が下がっての入札になったっていうことは、多分これが一つ入札不調になったという理由もあったと思ったので、今回は市が主導としてやっていくのは分かりますけれども、金額に関しては我らはそこに関しての今審査をしているので、その部分をしっかりと踏まえてやっていただけたらいいんじゃないのかなという、やんわりとした言い方でございます。

○中村委員長 齊藤委員が言われますのは、せっかく予算取りましても、総合評価の中で予定価格を公表することによって、金額を低く提示したものが一つのネックになっているものも、前回の不調の要因になっているのではなからうかということでございますので、そういったものも踏まえた中で、委員の皆さんもちょっと意見を聞かせてください。委員間の議論です。

小島委員。

○小島委員 前回の入札に関しては、137億円という予算がありながら、どうしてもしっかりと入札方式を取ろうとしたということで、いろいろと皆さん方御存じのとおり、少し137億円をマキシマムにしてなかったというところがありますよね。そういうことが若干ながら入札不調の原因になっているのかなと、私は若干はやっぱり思っているんですけども。その後サウンディング調査等をしまして、今全国的に入札不調っていうのが起こっているという中では、今回の予算額をマキシマムにするってのが、今後仕方ない話なのかなと思いますけれども、ただ今回の予算に対してこの間のような、そういう構造計算とかいろいろな式がちょっとよく分からないので、どういう理由で137億円から下げていったのか、本当は後でちょっと確認はしたいと思っているんですけども、その他のところで。そういう中で、今回はある程度、今回予算額を通すという中では、それはマキ

シマムでいいのかなと私は思っているんですけども。ただし入札する業者はそれよりももっと下げて、もっとシビアな計算をした入札をしてほしいなと僕は思っています。そういう面での進め方というか、そこだけは何とか進めてほしいなと、こういうところは持ちながら、やっぱりマキシマムに関しては、どうしてもそれが入札不調の一番の原因になるということであれば、そういうところは仕方ないのかなと思っています。

以上です。

○中村委員長 小島委員からもいろいろ意見が出ました。やはり予定金額等々に関するネックというものも若干感じられるということで、その設定基準をどう執行部が捉えて、価格を出して公告されたかということも一つになっていく場合には、今後においては満額に近い面で公告したらどうかという意見としてよろしいですか。

○小島委員 基本的にはそうですねけれども、ただし業者には頑張ってもらいたいというのはあります、裏では。ありますけれども、競争入札ですから。

○中村委員長 競争入札ですから、お勉強されるのは、取っている中で。要するに私も何回も以前言ったと思うんですが、総合評価の場合には大きい金額だと予定金額というのを出さない事例が多いので、たまたま那須塩原の場合には要額で決まっているということで、予定金額を入れないと。ですから皆さん落札したい業者は、予定金額までいったらば、これ以上の金額では取れないから辞退するということはもう目に見えて分かるということも一つあるので、そういったもので実際に金額を入れていないで不調という形になっている事例になりつつあるので、そういった面で今回はしっかりとサウンディング調査の中で金額を見て、そういったものの対応は内容等しっかりと組んでいるんだということを考えますと、予定金額の中で、

前回は部長がよく言われましたように112億円の金額が消費税込みで123億円ですよということを言われますが、そうするとそのときに137億円から123億円を引くと14億円ぐらいのお金は絞ってあったという解釈を取れる話は何回も委員会の中でされたと思うので、そういったものを踏まえると、そこから絞ったお金で不調になって10億5,000万円上げて、実際には金額が増える羽目になったというものは、以前副委員長も誰が責任取るんだというような意見も出されたこともあるんですが、物価の値上がりとかいろいろこういう日本の状況を鑑みの中で、るる努力をされている執行部の皆さんの意見を聞いたりなんかでやっていただいて、そういったもので小島委員が言われまして、齋藤委員からも言われましたけれども、お金についてはどう思いますか。

齋藤委員。

○齋藤委員 両委員と同じことなんですけれども、我々は3月の議会で137億円という金額を承認させていただいて、当然執行部の努力によって今委員長も説明したように、14億円引いた123億円というところで一回目不調になってしまった。これ一般市民も全部137億円の予算をつけたという我々の議会の任務が、一般市民にも全部伝わっていたところ、努力によって123億円という部分で不調になってしまった。今回137億円プラス10億円というところで、前回の委員会でも言わせていただいたんですが、また努力をしようと、やっぱりしようとは思うんですね、今言うように。でもそうじゃなくて、もうこの2回目、3回目はありませんので、147億円、10億5,000万円プラスの中でもうやっていいというふうに自分は思うんですね。だから、もう3回目というのは本当3回目になったら大変なことになりますので、これをまた減額をしようまく入札をしようという考えよりは、

もうここで全部決めてほしいなというのは自分の思いです。

○中村委員長 今齋藤委員からも出まして、しっかりと皆さんで議論した中で、両輪の中でやっていく場合に、今回で完結をして、今回の公告には明記していただきたい、このように意見がまとまりつつあるんですが、そんな形でよろしいですか。

田村委員。

○田村委員 同じ意見です。背水の陣というか後はないということで、相手のあることではありますけれども、うまくいくことに期待したいと思います。

○中村委員長 小島委員。

○小島委員 1つだけ確認したいのは、この147億円というのは消費税入っているんですかね。それとも消費税なしで。

○中村委員長 147億5,000万円は消費税込みだそうです。これ何回も確認させていただいております。以前は137億円の時には消費税は別かという認識を持って、何回も委員会の中で議論させてもらいまして、部長から怖い顔で何回も、それはしっかりと。こういうふうにして皆さんで議員間討議をさせていただいて、最終的に執行部にも申し上げたいのは、しっかりとこれを受けて公告に関しては万全を期して対応していただければということで、まとまった案でよろしいですか。

松田委員。

○松田副委員長 12月公告出るんでしょうから、皆さんには公正公平な入札をして、ちゃんと業者が出てしっかりと入札ができるようお願い申し上げます。

以上です。

○中村委員長 そうということで、齋藤委員よろしいですか。

以上で議員間討議を終了することよろしいで

すか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○中村委員長 ありがとうございます。

討論は皆さんございますか。

〔「ありません」と言う人あり〕

○中村委員長 ここで議員間討議と併せて質疑も終了したいと思いますが、ほかに質疑はございませんか。

齊藤委員。

○齊藤委員 10億5,000万円上がっていくということなので、財政面的に合併特例債等とこの間起債の話があったんですが、何か変更の点みたいなのは考えているのか、その財源の在り方の示しというものはできそうですか。せっかく財政課長いるからそれでもいいんですけども、前は脱炭素化推進事業債と地域活性化事業債と、あと合併特例債を使うって話だったんですが、10億円になってくると合併特例債も限度額いっぱいになっているので、どういった対応をしていくのかということ、何か変更した点とかはございますでしょうか。

○中村委員長 財政課長。

○波多腰財政課長 財源基金の件でございますけれども、今回まず一つは建物のほうの実施設計が今年度になってから完了をしております。その実施設計が完了した時点で、財源の内訳の再検討をさせていただいております。先ほど御質問で出ました合併特例債、こちらについてはそのまま扱います。御存じのとおり、合併特例債についても発行の限度額がございますので、そちらについては上限がほぼ変わりませんので、70億円程度を見込んでいるというのは変わりません。

それから、先ほど出ました脱炭素化推進事業債、こちらにつきましては、昨年度の中では金額的にはあまり大きく見ていませんでした、3億円程度

しか見ておりませんでした。実施設計が完了した時点で、もう少し積み増しができそうだったところが出ましたので、こちらにつきましては、金額としましては39億円ほど、脱炭素化推進事業債を活用できるというところが一つございます。

それから、地方債に関しましてもう一点、緊急防災減災事業債というものがございまして、今回庁舎の整備の中で防災に資する部分の施工に充てられる部分が、やはりこれも実施設計が完了した時点で充てられるということを確認できましたので、この部分を1億8,000万円ほど見込ませていただいているというところが、前回と変わっている部分でございます。

○中村委員長 齊藤委員。

○齊藤委員 御説明いただきました。有利な起債が大幅に使えるようになったということの説明なので、前回との変更点でいきますと、足りない分は貯金を崩して充てようと思っていたんですけども、起債が使えるということで、貯金は今年度の何かしら不測の事態に備えるということで、今回起債幅を広げたという解釈でよろしいでしょうか。

財政課長。

○波多腰財政課長 おっしゃるとおりでございます。もともと基金を当然この庁舎整備に充てる想定をしておりました。そのうち起債で賄える部分が増えるということで、基金の部分を、庁舎に充てる部分は減らすんですが、今お話出ましたとおり、建物以外に庁舎関係で一番大きな什器、机とか椅子の什器類、そういうソフト事業のほうも、やはり物価高騰の対応をするために財源が必要だということの部分を基金で賄っていただきたいということでの見直しをさせていただくものでございます。

○齊藤委員 了解しました。

○中村委員長 ほかにございませんか。

小島委員。

○小島委員 まず137億円のときの話ですけれども、私はああいうものをやる時にどういうふうにするかちょっと分からないので確認したいんですけども、115億円ぐらいですか、そういうふうにして、要は今やっているものの最高価格を決めるためにシビアなほう、計算というのはどんな計算をするのかということと、あとこれが今回はかなり下げられた、見積りよりも下がったというようなところ、そこら辺を具体的にどんな感じだったのかというのは、ちょっと私も分からないのでお伺いしたいと思うんですけども。

○中村委員長 室長。

○佐原那須塩原駅周辺整備室長 私のほうからお答え差し上げます。

まず、シビアという表現がございました。1回目、6月の公告の際の予定価格、これは先ほど来御意見頂戴しておりますけれども、その時点で適正な価格だということで、執行部として決定させてもらったところでございます。

それから、今回10億5,000万円ほどの工事請負費の増額をお願いしているところでございますが、この金額についても、これも繰り返しになりますけれども、サウンディング型市場調査によりまして、実際の受け手側がどれぐらいだったならば今回の工事を請け負ってもらえるだろうという調査、これに加えまして、この受け手側だけの意見ということではまずいので、現在の市況というものを調査した上で、大きな損はないということで、今回その金額を補正予算として今計算させてもらっているところでございます。

数字的にちょっと大きな乖離があるので、どうやってというふうな今お話だと思いますけれども、当然市役所の発注する工事ですので、積算基準というものがございまして、それにのっとってやる

ことに関しましては6月も、それから今回も全く同じでございます。まず金額的にどこで見直しが可能なのかというところでございますが、まず一つは今回、今の現況の市況に合わせた見積りを改めて徴収をしてございます。ですから、当然こちらの金額で前回とは乖離があるかと思えます。

それから建築工事、いわゆる営繕工事といいますが、こちらの見積り単価の設定に当たりましては、市況をしっかりと調査した上で、見積りに対する乗率、つまり掛け率を設定しなさいというのが、これも積算基準の中に明記がございまして、ですからその辺も今の指標に合わせた乗率を決定して、金額の設定をさせていただきたいと。

いずれにしても、今回147億5,000万円の予算を要求させていただいたところにつきましては、やはりこの金額に近いところでない、なかなか難しいというのは我々も同じ考えで今おりますので、その辺のところはしっかりと、積算基準の範囲の中で対応していきたいというふうに考えております。

○中村委員長 ほかにございますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○中村委員長 ないようですので、議員間討議及び質疑を終了したいと思います、異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○中村委員長 異議がないものと認め、質疑を終了いたします。

討論はございますか。

〔「ありません」と言う人あり〕

○中村委員長 ないようですので、討論を終了したいと思います、異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○中村委員長 異議がないものと認め、討論を終了し、これより採決いたします。

議案第86号 令和7年度那須塩原市一般会計補正予算（第7号）は、原案のとおり可決すべきものとするに異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○中村委員長 異議がないものと認めます。

よって、議案第86号については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

那須塩原駅周辺整備室所管の審査事項は以上となります。

ここで暫時休憩といたします。

休憩 午前10時37分

再開 午前10時42分

○中村委員長 それでは、休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

◇

◎その他

○中村委員長 それでは、次第4、その他に入ります。

委員の皆さんから何かございますか。その他で

ございます。

〔「ないです」と言う人あり〕

○中村委員長 なければ、それでは私から1点お願いいたします。

新庁舎建設は市のビッグプロジェクトでございます。本会議最終日の採決に向けて、議員全員の理解が必要と考えます。皆様それぞれの会派の代表も兼ねていますので、本日の内容を会派の皆様によく説明をしていただきたいと思います。あわせて、1人会派の皆様にも周知するために、事務局からサイボウズで全議員に対しての本日の資料

を共有するようお願い申し上げます。

それでは、事務局から何かございますか。

〔「ございません」と言う人あり〕

○中村委員長 それでは、その他を終了いたします。齊藤委員。

○齊藤委員 財政の先ほど僕質疑した今後の市の起債とか、どんだけ借金してどうやって返していくのかという話をぜひ聞きたいという議員さんの要望があったので、我らも含めて、いま一度財政課の方にそのシミュレーションも含めた説明をする機会を設けたいと思うんですけども、いかがでしょうか。

○中村委員長 それはこの会期中ですか。

○齊藤委員 会期中にやらないと、次の日の最終日に影響が出る可能性があるのでは、終わってからやっちゃうと意味がないという。

○中村委員長 局長。

○平井事務局長 やるということになれば、事務局のほうと総務部とちょっと調整しまして、また全体ということになれば、議長と日程等調整して段取りはしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

○中村委員長 それでは、今提案ございましたものは行うということで、議長と事務局長と向こうの総務部関連で調整をさせていただいて、それで皆さんに通知をいただくということでよろしいですか。

○齊藤委員 よろしくお願います。

○中村委員長 そのような形で進めさせていただきます。

それでは、その他を終了します。

◇

◎閉会の宣告

○中村委員長 以上で、今定例会議における委員会の審査事項は全て終了いたしました。

本委員会の審査報告書は本職が作成し、議長に提出いたしますので、御一任くださいますようお願いを申し上げます。

これもちまして、那須塩原駅周辺まちづくり特別委員会を閉会いたします。

大変お疲れさまでございました。

閉会 午前10時47分